



麦田 博稔議員

行革の委員会設立は

町長／プロジェクトチームを作る

行財政改革

麦田

合併の効果を出すために、行政改革の委員会を設立して、公共施設等のあり方を検討するべきではないか。

町長

公共施設等については旧町で必要に応じて造つ



類似施設の効率的な活用策は（宮之城保健センター）

てきた施設ですが、合併した事で類似施設になりました。全般的に検討する事は必要であると思いますので、町全体の施設についてプロジェクトチームを作つて今後のあり方を検討します。一挙には出来ないと思いますが、方向性は出すべきだと思います。

人口減対策は

町長／総合的に取り組みます

麦田

町づくりの最大の課題

は人口減ではないか、人口が減少すると町に活気がなくなる。定住対策に力を入れるべきではないか。

町長

町全体が活性化するのは、人がいる事が基本的な事だと思っています。定住対策については、色々な事をしていく必要があります。人口が減少しない工夫をしていく事が課題であると思いますので総合的に取り組みをして参ります。

振興計画

後期基本計画の考え

町長／各種計画と整合性を図る



柏木 幸平議員

柏木

さつま町総合振興計画の前期基本計画が22年度までである。後期基本計画五年間の総合的かつ長期的視点に立った、振興方策や基本的な計画策定に向けた町長の考えを伺う。

町長

後期計画策定にあたっては、前期基本計画の事業検証、評価を行うとともに、本町がもてる豊かな人材、地域資源等のポテンシャル（良き素材）をうまく引き出し、町民をはじめ、各種機関との情報交換や、基本内容の考え方、意見等をいただきながら進めます。

また、これまでの社会情勢の変化や国・県の動向を見極めながら「町民が夢と希望を持てる元気なまち」の実現のために、より具体的で実効性のある計画にしたいと考えております。



さつま町総合振興計画（前期計画）